

「アサヒ黒生」、「ミンティアブリーズ」、「ウィルキンソン」を手掛けたキャリアが語る
有隣堂の最新刊『仕事の成果が上がる「自分ごと化」の法則』4月24日発売
アサヒグループ初の女性社長 千林紀子氏の仕事を面白くする思考と行動

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、4月24日、当社オリジナル出版物の最新刊として、『仕事の成果が上がる「自分ごと化」の法則』を発売します。著者は、アサヒバイオサイクル株式会社 代表取締役社長 千林紀子氏。千林氏はアサヒビールに入社し、「アサヒ黒生」の企画開発、「ミンティアブリーズ」、「ウィルキンソン」の市場導入を統括するなどキャリアを形成し、アサヒグループ初の女性社長に就任しました。本書ではその経験を踏まえ、仕事が面白くなって成果が上がる思考と行動をアドバイスしています。ジェンダーレスの現代において、多様性あるキャリア形成の一助となる本です。

●書名：『仕事の成果が上がる「自分ごと化」の法則』

●著者：千林 紀子

●出版社：有隣堂

●定価：税込1,540円（本体1,400円＋税）

●体裁：四六判・本文208頁

●ISBN：9784896602418

●発売日：2023年4月24日予定

●取り扱い：有隣堂各店（一部店舗除く）、全国の書店

●内容：

「自分ごと化」とは、当事者意識・オーナーシップを持つこと、つまり自分以外の人間とのギャップを埋めるために自ら行動することです。キャリア形成に最も大切なのは、今の仕事への「当事者意識」なのです。楽しく働いて成果を出したいあなたに、アサヒグループ初の女性社長が、自身の経験を踏まえ、仕事が面白くなって成果が上がる思考と行動をアドバイスします。

目次：

第1章 「自分ごと化」は、人を動かす原動力

第2章 待っていても「仕事」は来ない

第3章 「自分ごと化」は世界で通用する

第4章 「自分ごと化」を身につけるために

第5章 企業にも求められる「自分ごと化」

第6章 多様性時代の組織と個人のキャリア

著者：千林 紀子（ちばやし のりこ）

神奈川県横須賀市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、アサヒビール(株)入社。スーパードライブランドマネージャー、飲料、食品事業会社のマーケティング部長を歴任。アサヒグループホールディングス(株)にてM&A業務を経て、カルピス(株)に出向。2017年アサヒカルピスウェルネス(株)(現、アサヒバイオサイクル(株))代表取締役社長就任。アサヒグループのバイオ技術で、世界の農業・畜産・環境分野の課題解決に挑むビジネスを手掛けている。



●有隣堂の出版物 <https://www.yurindo.co.jp/yurin/tanko>